

キハダマグロ 記録的な豊漁

口永良部噴火後に

宮崎県日南市の油津港で、キハダマグロが記録的な豊漁となっている。周辺に漁場がある鹿児島県・口永良部島の噴火直後から水揚げの数が目立って増加。ことしに入ってから半年で既に昨年1年分を超え、関係者からは噴火の影響を推測する声も出ている。



水揚げされ、並べられたキハダマグロ
＝16日、宮崎県日南市の油津港

日南市漁協によると、この時期の主な漁場は口永良部島に近い屋久島や、種子島の近海。5月29日の噴火の数日後に水揚げの数が急増し、6月11日には2010年以来5年ぶりに、1日当たり800匹を超えた。ことし1月から今月17日まで

は約1万7千匹だった。昨年1年分を上回った。

日南市漁協の高橋重美業務部長は「噴火で海中のプランクトンが巻き上がり、餌となる小魚が増えたのではないかと推測、今後1カ月は豊漁が続くとみ

2015年6月19日 夕刊

①6月11日は、一日でどのくらいとれたのでしょうか。

[]

②今年と去年を比べると、とれる量はどうなりましたか。

[]

③漁協の人が、たくさんとれるようになった理由を推測している文を書きましょう。

[]

年 組 名前

(小学校高学年 社会)